

ニュータイカライトR + wood

柱 2 時間耐火 (木質系仕上げ材工法)

2 時間耐火被覆構造 国土交通大臣認定 FP120CN-0827-1(3)

標準施工手順書

2026 年 1 月版

目次

1. 初めに-----	3
2. 総則-----	3
3. 安全対策について-----	4
4. 保管・運搬上の注意・禁止事項-----	4
5. 材料-----	5
6. 施工方法-----	8
7. 認定番号-----	11
8. 補足資料-----	12

1. 初めに

ニュータイカライト R は、2018 年以降に各種の耐火構造認定を取得した工法用の最新の耐火被覆材です。耐火構造の認定制度では、最新の技術的知見により適用範囲や条件の見直しが行われており、特に大臣認定の厳格化以降、仕様の記載内容が緻密化されており、本製品による工法は、適用範囲の評価で適用可能な仕様バリエーションを最大限広げた認定内容になっています。従来の JIS 規格鋼材に加え、大臣認定鋼材など多くの材種の鋼材に適用可能です。

このたび、被覆材表面の全面又は一部に可燃物である木材を取り付けた仕様にて耐火認定を取得いたしました。内装木質化により、カーボンニュートラル、持続可能な資源の利用、快適空間の実現に貢献します。

*注意事項

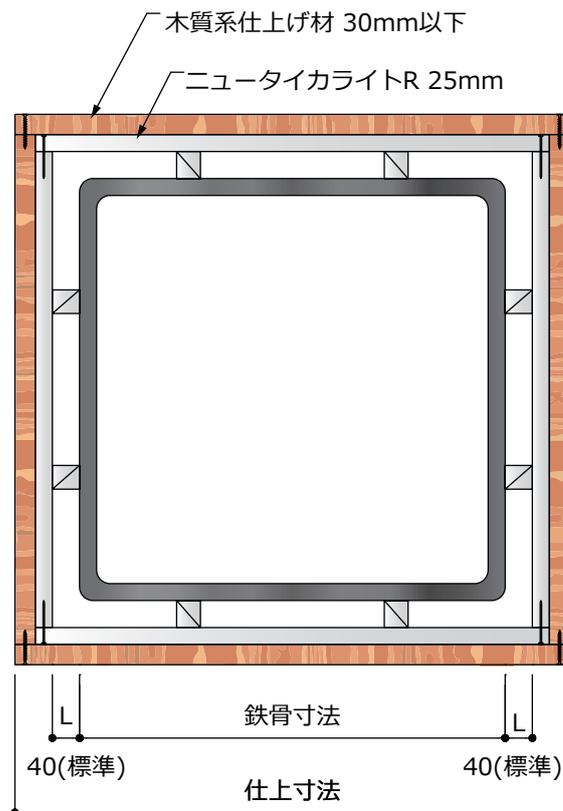
この「標準施工手順書」は、必ず施工前に注意深く読み、よくご理解ください。

この「標準施工手順書」は、この施工全般にわたって、いつでも確認できるように保管しておいて下さい。

2. 総則 (1)

2-1 適用範囲

この標準施工手順書は、ニュータイカライト R + wood (木質系仕上げ材工法) 2H 耐火について適用する。



独立柱 (基本断面図)

2. 総則 (2)

2-2 周知徹底

ニュータイカライト R+wood 2H 耐火の施工に際しては、この標準施工手順書に基づいて事前説明会やその他の方法で作業員全員に周知徹底する。

2-3 施工

施工業者は、この標準施工手順書に基づき、正確かつ確実に施工しなければならない。この標準施工手順書に明記されていない事項又は、疑問点がある場合は、日本インシュレーション(株)の担当者と協議し、施工内容を検討する。

2-4 報告

施工業者は、工事が完了した時点で建設元請業者の監督員に報告し検査を受ける。

3. 安全対策について

3-1 現場の作業は、安全を第一とし、各々が自覚した行動をとり、もし危険のある段取や安全管理が徹底出来ない場合は、作業を中止して見直しを図り全員一体となって、安全を最優先し、無事故無災害で工事を完成させることを基本とする。

4. 保管・運搬上の注意・禁止事項

4-1 製品の保管(貯蔵)に際しては、雨がかりのある場所その他水気の多い場所に製品を保管(貯蔵)しないでください。製品が吸水すると強度が低下するなどの恐れがあり、藻類やカビなどが発生するなどの恐れもあります。水がかりが予想される場所に保管(貯蔵)せざるを得ない場合は必ず防水シートなどで製品に水がかからないようにしてください。

4-2 製品は直射日光を避けて保管(貯蔵)してください。特にフィルム梱包されている場合は日光によりフィルムが劣化して破損し、製品への保護能力を失う恐れがありますので注意してください。

4-3 製品はできるだけ水平で平坦な場所に保管(貯蔵)してください。また、1mを超えるような積載、或いは立てかけによる保管(貯蔵)はしないでください。何らかの力が製品に加わった際に製品が崩れる・落下する・転倒する・変形するなどの恐れがあります。

4-4 ダンボールケース入りの製品は、ダンボールケースを立てて(内包される製品が立つ方向で)保管(貯蔵)願います。横倒しで保管(貯蔵)した場合、物を載せるなどの力が加わると内包される製品が破損しやすくなります。

4-5 製品を車両・キャリアーなどで運搬される場合は、できるだけ平積みにしてシートで養生するなど荷崩れが起こらないようにしてください。また、製品の運搬・荷積み・荷降ろしの際には接触などで製品の角部や小口などが破損しないように十分注意してください。作業前にクッション材などで製品を保護することを推奨します。

4-6 板状製品は木端立て(板面を垂直)にして持ち運びしてください。板面を水平にして持ち運ぶと、たわみや振動で製品が破損するなどの恐れがあります。

5. 材料 (1)

5-1 主構成材料

5-1-1 鉄骨柱

形状・寸法： 角形鋼管：□ -300 × 300 × 16mm 以上（表面処理塗装：有機量 70 (± 7)g/m² 以下）

円形鋼管：φ -382 × 16mm 以上

幅 厚 比：表 1 に記載された部材厚さ以上

規格： 下記のいずれかとする。

① 一般構造用圧延鋼材 (JIS G 3101) SS400、SS490	② 溶接構造用圧延鋼材 (JIS G 3106) SM400、SM490、SM520
③ 建築構造用圧延鋼材 (JIS G 3136) SN400、SN490	④ 溶接構造用耐候性熱間圧延鋼材 (JIS G 3114) SMA400、SMA490
⑤ 一般構造用角形鋼管 (JIS G 3466) STKR400、STKR490	⑥ 一般構造用炭素鋼鋼管 (JIS G 3444) STK400、STK490
⑦ 建築構造用炭素鋼鋼管 (JIS G 3475) STKN400、STKN490	⑧ 建築構造用冷間ロール成形角形鋼管 (一社) 日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0002(BCR295)
⑨ 建築構造用冷間プレス成形角形鋼管 (一社) 日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0003(BCP235、BCP325)	⑩ 建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管 (一社) 日本鉄鋼連盟製品規定 MDCR0012(BCP325T)
⑪ 表 2 ～ 6 に示す①～⑦の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材	

※ただし、⑧～⑪は建築基準法第 37 条第二号に適合するものに限る。

建築基準法第 37 条第二号抜粋：指定建築材料ごとに国土交通大臣が定める安全上、防火上又は衛生上必要な品質に関する技術的基準に適合するものであることについて国土交通大臣の認定を受けたもの。

5-1-2 耐火被覆材

商品名：ニュータイカライト R (ゾノトライト系けい酸カルシウム板)

規 格：日本インシュレーション(株) 製品規格による

密 度：0.25g/cm³ 以上

厚 さ：25mm 以上

標準寸法：1000 × 610、910、1525mm

5-1-3 スペーサー (被覆材同質材)

材 質：けい酸カルシウム板 (JIS A 5430)

密 度：0.3g/cm³ 以上

寸 法：厚さ 35mm 以上 × 高さ 100mm 以上 × 幅 10 ～ 100mm (鉄骨と被覆材とのクリアランスを調整)

取付間隔：1000mm 以下 (鉛直方向)、300 mm 以下 (水平方向)

※強度が要求される箇所では、取付間隔を狭くする (詳細は 8 ページ参照)

5-1-4 被覆材留付材

① 耐火被覆材 (ニュータイカライト R) 固定用 (釘)

材 質：鋼製又はステンレス鋼製

寸 法：φ 2.5mm × 長さ 65mm 以上

留付間隔：150mm 以下 (鉛直方向)、1225 mm 以下 (水平方向)

② スペーサー脱落防止用 (釘) ・ ・ (あり又はなし)

材 質：鋼製又はステンレス鋼製

寸 法：φ 1.0mm × 長さ (被覆材厚 25mm + 掛かり代 10mm) 以上

5. 材料 (2)

5-1-5 接着剤

- ① スペーサー固定用（鉄骨とスペーサーの間に使用）
 商品名：ボンデスト（無機質系接着剤）
 規格：日本インシュレーション（株）製品規格による
 材質：けい酸ナトリウム系
 塗布量：1500 g /m²以上（鋼材寸法 300 ～ 550 未満）
 1000 g /m²以上（鋼材寸法 550 以上）

- ② 被覆材ジョイント部用（あり又はなし）
 商品名：ボンデスト（無機質系接着剤）
 規格：日本インシュレーション（株）製品規格による
 材質：けい酸ナトリウム系

5-1-6 被覆材の目地処理材（あり又はなし）

下記①～⑤の1つもしくは組み合わせ

- ① 無機質系パテ材
 材質：下記 1) ～ 3) の1つもしくは組み合わせ
 1) けい酸カルシウム系、2) せっこう系、3) セメント系
- ② 建築用シーリング材 (JIS A 5758)
 材質：下記 1) ～ 7) の1つもしくは組み合わせ
 1) アクリル系、2) ポリウレタン系、3) アクリルウレタン系、4) シリコーン系、
 5) 変性シリコーン系、6) ポリイソブチレン系、7) ポリサルファイド系
- ③ 合成樹脂系パテ材
 材質：②建築用シーリング材の材質と同じ
- ④ アルカリアースシリケートブランケット（生体溶解性繊維）
- ⑤ ボンデスト（けい酸ナトリウム系接着剤）

5-2 耐火被覆材「ニュータイカライト R」の表面仕上げ

- ・「木質系仕上げ材」（あり又はなし）

種類：下記（1）～（4）の一つ

- (1) 合板
- (2) 単板積層材（LVL）
- (3) 集成材
- (4) 製材

厚 さ：30mm 以下

密 度：0.35g/cm³ 以上

5. 材料 (3)

- ・留付材（木質系仕上げ材用）：下記 1）と 2）を併用する

1) 釘又はビス

寸法：φ 1.05mm ×長さ：木質系仕上げ材厚+掛かり代 20mm 以上

留付間隔：300mm 以下（鉛直方向）、560mm 以下（水平方向）

2) 接着剤

使用量：100g/m²以上

材料：下記 (1)～(21) のいずれか

- (1) 酢酸ビニル樹脂系、(2) 合成ゴム系、(3) アクリル樹脂系、(4) ポリサルファイド系、
- (5) シリコン系、(6) ウレタン樹脂系、(7) ポリアミド系、(8) エポキシ樹脂系、(9) せっこう系、
- (10) 炭酸カルシウム系、(11) セルロース系、(12) フェノール樹脂系、(13) シアノアクリレート系、
- (14) ポリエーテルアクリレート系、(15) レゾルシノール系、(16) ポリビニルアルコール系、
- (17) 塩化ビニル系、(18) ポリオレフィン系、(19) ポリエステル系、(20) エチレンビニルアセテート系、
- (21) けい酸ナトリウム系

- ・木質系仕上げ材の表面塗装（あり又はなし）

材料：下記 (1)～(12) のいずれか

- (1) ウレタン樹脂系、(2) ポリウレタン樹脂系、(3) エポキシ樹脂系、(4) ポリエステル系、
- (5) シリコン系、(6) フッ素樹脂系、(7) アクリル系、(8) クリアラッカー、(9) 木材保護塗料、
- (10) エマルジョン系、(11) 無機質系、(12) 油性

使用量：有機質量 113 ± 11.3g/m² 以下

6. 施工方法 (1)

施工は以下の手順で行います。

6-1 耐火被覆 標準施工要領

ニュータイカライト R 施工手順

(1) 鉄骨柱の清掃

施工に先立ち、鉄骨表面は施工に支障のないように清掃する。

(2) 鉄骨柱のさび止め塗装

さび止め塗装が必要な場合は鉄骨表面の素地調整を行い、さび止め処理などの塗装を行う。

(3) 足元墨出し

仕上墨がない場合は、施工図をもとに基準墨から仕上墨をうつ。

(4) 耐火被覆材「ニュータイカライト R」の取付

1) ニュータイカライト R の割付

設計図、施工図及び、鉄骨寸法によりニュータイカライト R の割付を行う。

2) ニュータイカライト R の切断

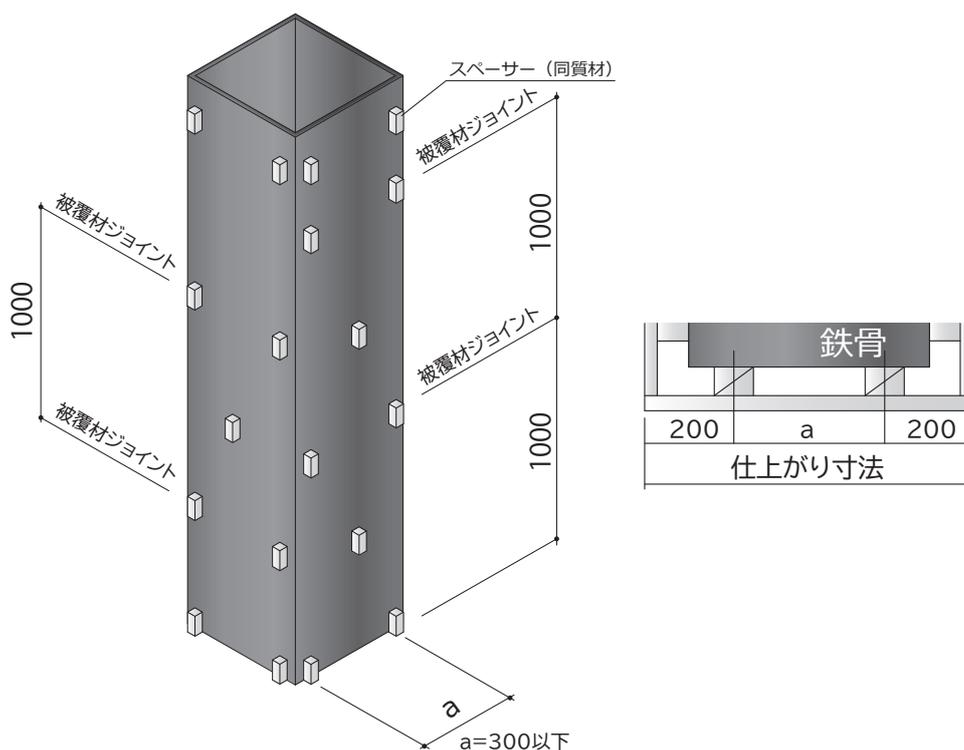
- ・ニュータイカライト R の切断は、割付により丸ノコ等を用いて切断を行う。
- ・ニュータイカライト R に面取り加工を施す場合は、最大 5 mm 以下とする。

3) スペースの取付

- ・仕上墨に合わせてスペースを切り出し、接着剤を塗布し鉄骨に取付ける。

スペースは、図の様に被覆材端部、及び、被覆材ジョイント部に板継目を跨ぐ様に配置する。

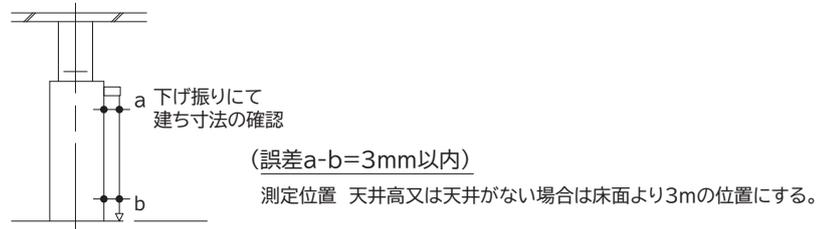
取り付けピッチは鉛直方向 @1000mm 以下。強度が要求される箇所（手の届く位置等）は、鉛直方向 @500mm を目安にスペースを追加配置しスペースと被覆材の接合部に接着剤を塗布する。更に、被覆材の小口部（上下の積重ね接合部）にも塗布する。



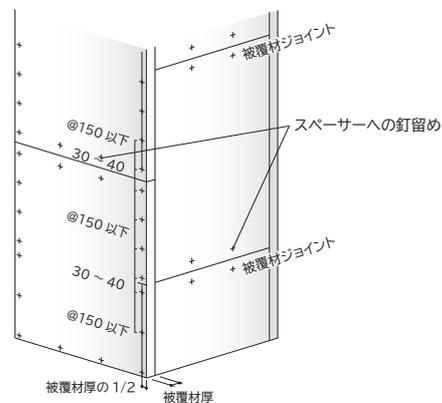
6. 施工方法 (2)

4) ニュータイカライト R の建て込み

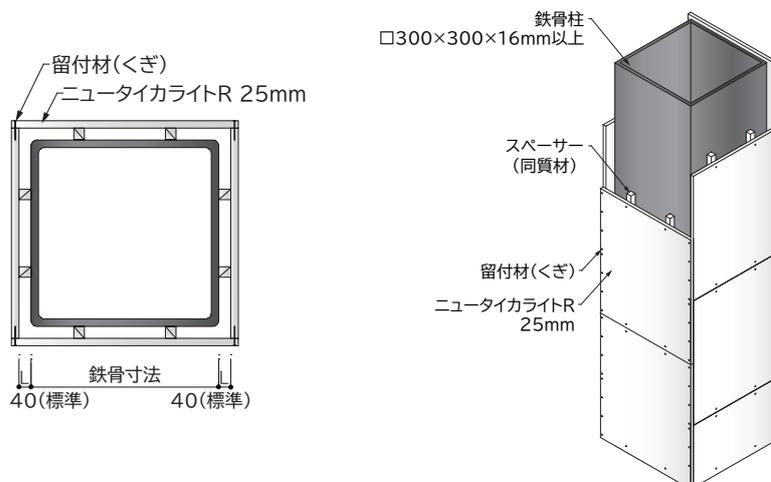
- 下げ振り又はレーザーで、建ち（垂直）を合わせながらニュータイカライト R を千鳥に組み上げ柱を立て込む。



- ニュータイカライト R は被覆材同士を突付け、そのジョイント部を釘で固定していく。留付材の位置及びピッチは図を参照



- 目地部（小口）にボンデストを点又は帯状に塗布し、目地部を補強することもできる。
 - パネルゾーンで異種耐火とニュータイカライト R が取合う場合は、柱の上端部を被覆材で塞ぎ、釘で固定する。
 - ニュータイカライト R 同士の取り合い部や突起物等のニュータイカライト R の切り欠きがある場合は、取り合い部クリアランスを最小限で施工する。目地処理材を使用して隙間を埋める。
- (注意事項)



- 建ち合せの要求有無に関わらず、窓、シャッター等のサッシフレームに隣接する場合、それらフレームの建ちに合わせること。
- ニュータイカライト R の施工に際し、現場での裁断加工に際しては集じん装置付きの電動機を使用し粉じんの飛散防止対策を行い、作業の際は防じんマスクを着用する。

6. 施工方法 (3)

6-2 表面仕上げ材 施工要領

(1) 木質系仕上げ材の取付け

1) 木質系仕上げ材の割付

- ・木質系仕上げ材はニュータイカライト R 表面の全面、もしくは部分的に施工する事ができる。
- ・設計図、施工図及び、鉄骨寸法により木質系仕上げ材の割付を行う。
- ※ 木質系仕上げ材 1 枚の長さ及び幅は、1 辺を 1 枚で仕上げる事も、その 1 辺を分割して仕上げる事も出来る。この場合、分割した面同士は突付及び実加工などの形状に加工する事もできる。

2) 木質系仕上げ材の切断

- ・木質系仕上げ材の切断は、割付により丸ノコ等を用いて切断を行う。

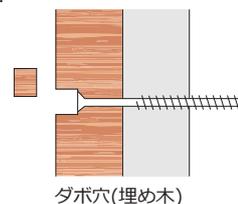
3) 木質系仕上げ材に接着剤（使用量：100g/m² 以上）を塗布しニュータイカライト R の表面に張り付ける。

4) 更に木質系仕上げ材の表面から釘、又はビスを打ち固定する。

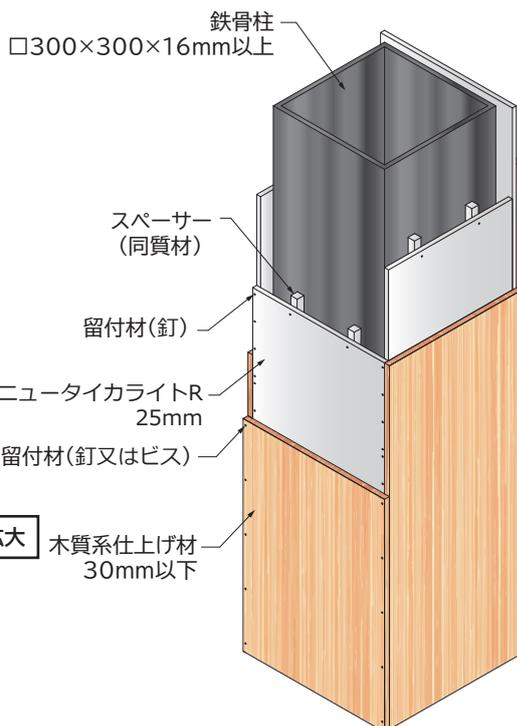
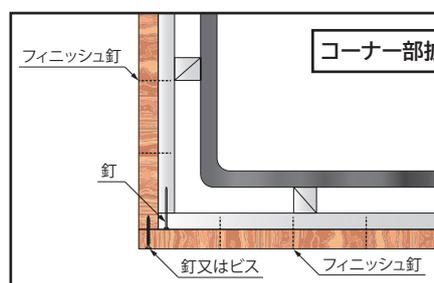
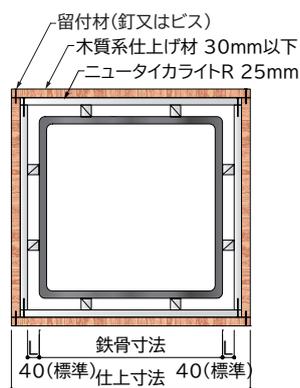
（留付間隔：300mm 以下（鉛直方向）、560mm 以下（水平方向））

- ※ 仕上げ材の表面に浮きやジョイント部に開きが出る場合は、釘又はビスを小口等に増し打ちして調整する。
- ※ 木質系仕上げ材厚 10mm 以上の場合、外径φ 10mm 以下、深さ 5～10mm のダボ穴（留付け箇所欠損部）を設ける事ができる。

5) 木質系仕上げ材の表面には必要に応じて所定の塗装を施す事ができる。



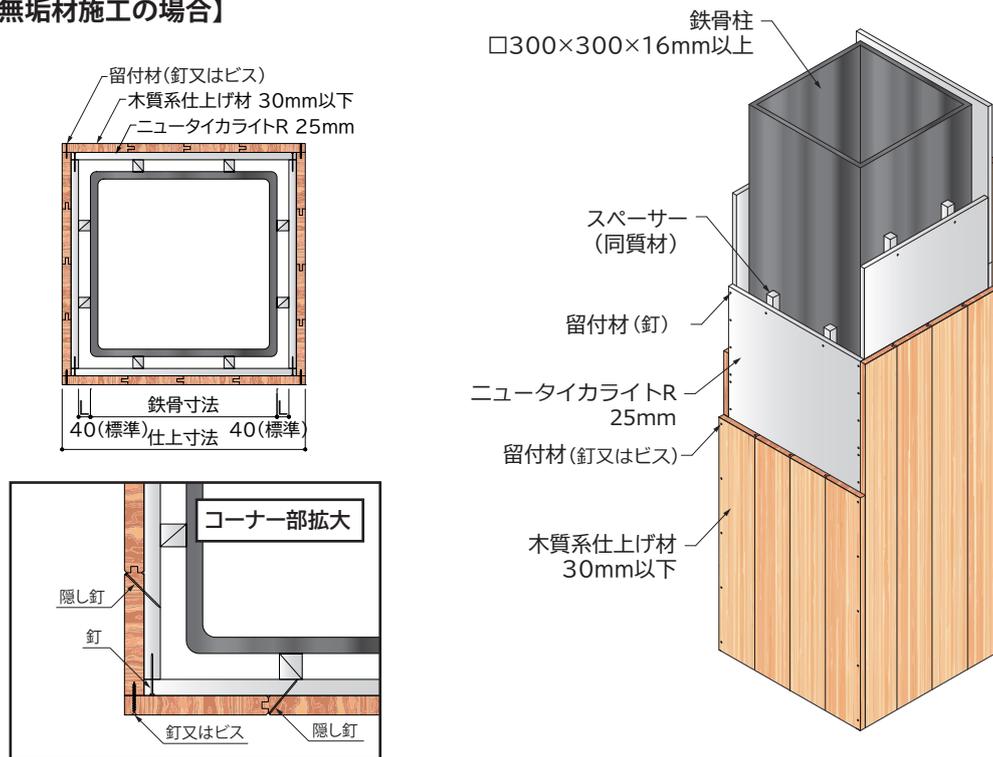
【集成材施工の場合】



必要に応じて、仕上げ材の表面にフィニッシュ釘の増し打ちを行う

6. 施工方法 (4)

【無垢材施工の場合】



(2) 表面塗装

- 木質系仕上げ材を上張りしていないニュータイカライト R が露出した部位の表面には、必要に応じて塗装を施す事もできる。その際、ニュータイカライト R 目地部に隙間や少量の欠けが生じた場合、又は塗装やクロス等の仕上げが必要な場合には目地処理材を充てんする。

7. 認定番号

■ ニュータイカライト R+wood

FP120CN-0827-1(3)

《補足》

木質系仕上材を上張りしない場合は下記の認定番号となります。

- ・表面ニュータイカライトR：FP120CN-0827-1 (1)
- ・表面石膏ボード上張り：FP120CN-0827-1 (2)

※各仕様に関しては別途認定書等をご確認ください。

8. 補足資料 (1)

■角形鋼管

表 1 申請仕様における部材幅と部材厚さの関係 (角形鋼管)

鋼材基準強度		部材幅 (mm)	部材厚さ (mm)
235N/mm ² 以外の場合		300 ~ 550	16.0
		560	16.1
		570	16.2
		580	16.3
		590	16.4
		600	16.5
		610	16.6
		620	16.7
		630	16.8
		640	16.9
		650	17.0
		660	17.1
		670	17.2
		680	17.2
		690	17.3
		700	17.4
	235N/mm ² の場合		710
		720	17.6
		730	17.7
		740	17.8
		750	17.9
		760	18.0
		770	18.1
		780	18.2
		790	18.3
		800	18.4
		810	18.5
		820	18.6
		830	18.7
		840	18.8
		850	18.9
		860	19.1
		870	19.2
		880	19.3
		890	19.4
		900	19.5
	910	19.6	
	920	19.7	
	930	19.8	
	940	19.9	
	950	20.0	
	960	20.1	

注) 部材幅が表の中間の値の場合は、その間の部材厚さは厚い方の数値以上とする

■円形鋼管

※円形鋼管の場合は別途お問合せください。

8. 補足資料 (2)

表 2 ①～⑦の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用 590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0049	PBCP440
建築構造用熱間成形角形鋼管	MSTL-0051	SHC400,SHC490
建築構造用熱間成形角形鋼管	MSTL-0113	SHCK490
建築構造用熱間成形角形鋼管	MSTL-0127	SHC275,SHC355
建築構造用 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0153	G385
建築構造用熱間成形継目無角形鋼管	MSTL-0165	BSH325
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0176	NBCP325EX
建築構造用高降伏点冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0231	BCHT400
建築構造用高降伏点冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0241	BCHT400
建築構造用 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0286	SBCP385
建築構造用 590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0298	SBCP440
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0301	NBCP385
建築構造用 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0308	G385
建築構造用 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0311	BCHT385
建築構造用 590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0317	G440
建築構造用 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0322	BCHT385
建築構造用 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0335	SBCP385
建築構造用 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0339	BCHT385
建築構造用高性能 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0350	G385T
建築構造用 590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0373	SBCP440
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL-0375	U365
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL-0376	U365
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL-0385	TSC295
建築構造用厚肉冷間ロール成形角形鋼管	MSTL-0401	JBCR295
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0423	BCHT325TF
建築構造用熱間成形継目無角形鋼管	MSTL-0438	BSH325

※ 同一記号における A 種, B 種, C 種の区分を省略したもの

※ 一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

8. 補足資料 (3)

表 3 ①～⑦の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用高性能 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0446	BCHT385TF
建築構造用高性能 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0447	BCHT385TF
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL-0450	UBCR295
建築構造用高性能 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0455	BCHT385TF
建築構造用高性能冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0456	BCHT325TF
建築構造用 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0458	BCHT385
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL-0465	UBCR295
建築構造用高性能 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0468	BCHT385TF
建築構造用高性能 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0469	BCHT385TF
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL-0479	UBCR295
建築構造用 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0489	SBCP385
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL-0495	BCR295
建築構造用高性能 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0497	G385TF
建築構造用高性能 490N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0498	G325TF
建築構造用 590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0513	BCHT440
建築構造用 590N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0514	BCHT440
建築構造用高性能 490N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0540	SBCP325TF
建築構造用高性能 550N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0541	SBCP385TF
建築構造用冷間ロール成形角形鋼管	MSTL-0556	JBCR325P
建築構造用高性能 490N/mm ² 級冷間プレス成形角形鋼管	MSTL-0559	G325TF

※ 同一記号における A 種, B 種, C 種の区分を省略したもの

※ 一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

8. 補足資料 (4)

表 4 ①～⑦の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL-0120	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL-0121	BT-HT440-SP
建築構造用高溶接性高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL-0122	BT-HT440-SP
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL-0128	HBL325,HBL355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL-0129	HBL325,HBL355
建築構造用 550N/mm ² TMCP 鋼材	MSTL-0130	HBL385
建築構造用 550N/mm ² TMCP 鋼材	MSTL-0131	HBL385
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL-0135	HBL325,HBL355
建築構造用高降伏点 490N/mm ² 鋼材	MSTL-0186	BT-HT400C
建築構造用高性能 550N/mm ² 鋼材	MSTL-0191	KCL A385
建築構造用 550N/mm ² 級 TMCP 鋼材	MSTL-0201	T-DAC385
建築構造用 550N/mm ² 鋼材	MSTL-0300	BT-HT385
建築構造用 550N/mm ² TMCP 鋼材	MSTL-0303	HBL385
建築構造用高性能 590N/mm ² TMCP 鋼材	MSTL-0306	HBL440
建築構造用 550N/mm ² 級 TMCP 鋼材	MSTL-0392	T-DAC385
建築構造用 490MPa 級 TMCP 厚鋼板	MSTL-0393	CK-HYS325
建築構造用 520MPa 級 TMCP 厚鋼板	MSTL-0409	CK-HYS355
建築構造用高性能 590N/mm ² TMCP 鋼材	MSTL-0410	HBL440
建築構造用 550N/mm ² 鋼材	MSTL-0413	BT-HT385
建築構造用高性能 550N/mm ² 鋼材	MSTL-0481	KCL A385
建築構造用 550N/mm ² TMCP 鋼材	MSTL-0550	HBL385
建築構造用高性能 590N/mm ² TMCP 鋼材	MSTL-0573	KCL A440
建築構造用高性能 550N/mm ² 鋼材	MSTL-0575	KCL A385
建築構造用高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL-9001	SA440
建築構造用高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL-9002	SA440
建築構造用高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL-9003	SA440
建築構造用高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL-9004	SA440
建築構造用高性能 590N/mm ² 鋼材	MSTL-9005	SA440
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL-9006	KCL A325,KCL A355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL-9010	T-DAC325,T-DAC355
建築構造用 TMCP 鋼材	MSTL-9012	BT-HT325,BT-HT355

※ 同一記号における A 種, B 種, C 種の区分を省略したもの

※ 一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

8. 補足資料 (5)

表 5 ①～⑦の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用高強度冷間ロール成形角形鋼管「JFE コラム JBCR385」	MSTL-0524	JBCR385
建築構造用高強度冷間ロール成形角形鋼管「JFE コラム JBCR385」	MSTL-0539	JBCR385
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 及び鋼帯 ZAM (東予製作所)	MSTL-0064	MSM-CK400, MSH-HK400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイヤモンド (広畑製作所)	MSTL-0069	MSDH400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイヤモンド (君津製作所)	MSTL-0070	NSDC400, NSDH400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイヤモンド (広畑製作所)	MSTL-0362	NSDC400
建築構造用溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 スーパーダイヤモンド (君津製作所)	MSTL-0395	NSDH400
建築構造用冷間圧延溶融亜鉛 - アルミニウム - マグネシウム合金めっき鋼板 及び鋼帯 ZAM (市川製作所)	MSTL-0523	MSM-CK400

※ 同一記号における A 種, B 種, C 種の区分を省略したもの

※ 一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。

8. 補足資料 (6)

表 6 ①～⑦の JIS 鋼材と高温性能の同等性が確認された鋼材

名称	認定番号	種類の記号
建築構造用高性能鋼管	MSTL-0053	KSAT325,KSAT355,KSAT440
円形鋼管	MSTL-0137	P-385
円形鋼管	MSTL-0138	P-385
建築構造用高性能鋼管	MSTL-0146	KSAT325,KSAT355,KSAT440
円形鋼管	MSTL-0154	P-325,P-355,P-SM520,P-440
建築構造用高性能鋼管	MSTL-0192	KSAT385
建築構造用鋼管	MSTL-0255	SA-T325,SA-T355,SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL-0256	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL-0257	SA-T325,SA-T355,SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL-0258	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL-0259	SA-T325,SA-T355,SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL-0260	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL-0261	SA-T325,SA-T355,SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL-0262	SA-T440
建築構造用鋼管	MSTL-0263	SA-T325,SA-T355,SA-T385
建築構造用鋼管	MSTL-0264	SA-T440
建築構造用高性能鋼管	MSTL-9028	SA-T325,SA-T355,SA-T440
建築構造用高性能鋼管	MSTL-9030	SA-T325,SA-T355,SA-T440
円形鋼管	MSTL-9039	P-325,P-355,P-SM520,P-440
建築構造用太径丸鋼	MSTL-0172	LRB400

※ 同一記号における A 種, B 種, C 種の区分を省略したもの

※ 一般社団法人 日本鋼構造協会 耐火構造認定適合鋼種データ集に基づく。